

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

# ゆるる 杜の伝言板

2013

12月号

Vol.199

毎月1日発行

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業



プレーリーダーの  
けろちゃん、  
見てみて!

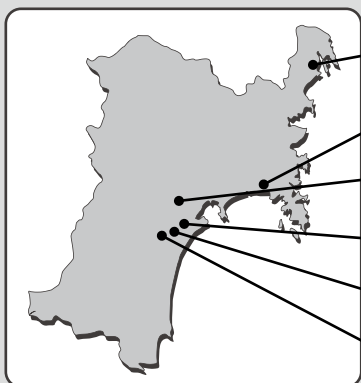
(こども∞感ぱにー)



いつまでも  
達者でな～

(NPO法人生活支援プロジェクトK)

## 特集 復興への道



NPO法人生活支援プロジェクトK P.2

こども∞感ぱにー P.3

NPO法人みやぎ宅老連絡会 P.4

NPO法人防災士会みやぎ P.5

NPO法人子どもグリーンサポートステーション P.6

NPO法人キューオーエル P.7

みやぎNPOプラザからのお知らせ P.8

今月の助成金情報 P.9

information P.10-15

寄稿・西城 宗子さん

# 復興のその先に見えてくるもの

●NPO法人生活支援プロジェクトK事務局長



設立時からサポートを受けていたNPO法人シェアII国際保健協力市民の会との共同事業が来年三月で終了します。

現在、気仙沼の仮設住宅の人々の抱える悩みは、住まいの再建にかかる資金調達、仕事探し、家族の健康、人間関係など、より深くより細かくなっており、それぞれの解決に向けての動きは困難を極めています。

それに合わせて私たちの活動も、変化への柔軟な対応が求められていくと思います。

一人一人が健康の大切さを知り、自助と互助の気持ちを持ち、生活再建に向けて問題解決力を高め合っていく事が大切だと考えます。復興のその先では、高齢化や少子化問題、地域づくりなど、震災前から地域が抱えていた問題に焦点が移っていき、くのではなく、それと関係が深まると思います。

その次の段階に移るまでの間に色々な活動にチャレンジして団体としてのあらゆる可能性を探求してみたいと思います。

**NPO法人生活支援プロジェクトK**  
〒988-0234 気仙沼市長磯原ノ沢130-7  
「はしかみ交流広場」  
●TEL : 090-4076-5071  
●E-mail : ssprojectk@yahoo.co.jp

震災直後、気仙沼市内在住の保健福祉関係者が立ち上がり、二〇一一年八月、気仙沼市階上地区の「はしかみ交流広場」を拠点として、生活支援プロジェクトKが設立されました。以降、「なんでも相談」、「健康相談」、「コミュニティ支援」を掲げて活動を続け、昨年二月には法人化しました。

## 私達の活動の柱

「なんでも相談」は「はしかみ交流広場」内で行っています。たとえば、小さな小さな相談であっても常に真摯に向き合い共に考え、時には関係機関に繋げたりして問題解決に向けて取り組んできました。相談内容は、ストレスなどの精神面のこと、さらに土地問題や財産について、子供の不登校や仕事について、など。現在では相談件数は少なくなりましたが、いつでも相談を受けられる体制を整えています。

被災者の生活が、震災後の数年の間に何度も変化していく中で、ま

ずは人々の心身がともに健康でなければ今後の生活の再建が進まないとい私たちは考えています。そこで「健康相談」としては、人々の健康を支えるべく、「いきいき体操」を考案しました。現在、毎週同じ時間に二か所の仮設集会所を訪問して血圧測定と体操を行っています。さらに三か月ごとに体力測定を行い、体力の維持向上が目に見える形で記録などを残したり、測定結果から強化すべき体操を検討したりしています。参加



▶タオルを使いたいいき体操の様子

している方から「身体が軽くなった」「足がつかなくなった」など感想が寄せられました。また日中外出するところが少ない高齢者の集まる場作りにもなっています。

「コミュニティ支援」については、『野菜を作ろうプロジェクト』が今年で二年目を迎えました。作物がゴージャドだった昨年に比べ、今年は五種類の野菜を作りました。このプロジェクトを始めたことで、それまでの活動では出会うことが少なかった男性の参加が増えました。震災前もほとんどの家庭で野菜を作っていた時のような日常を少しでも取り戻して欲しいと考えたのです。外に出て水やりをする、野菜の育ち具合を見て近所の人と会話する、採れた野菜をお互いに分け合う、そのようなコミュニケーションツールとしての役割の大きさを感じています。

また設立当初からはしかみ交流広場で『編み物講座』を開催していて、時には仮設集会所に出張講座に出かける事もあり、心のケアとして、また気軽に集まる場となっています。



# 子どもは宇宙の国

●子ども∞感ばにー

震災前、こども∞感ばにー（こどもむげんかんぱにー）代表の田中雅子さんは長野県のフリースクールで現地の子どもたちと自給自足の生活をしていました。

二〇一一年三月の震災発生後、たまたま関係者のメルマガを見たことがきっかけで、復興支援団体NPO法人MAKE THE HEAVEN（め組JAPAN）のスタッフとして石巻へ入ることになりました。以後、「子どもの遊び場作り」「おちゃっこの作り（コミュニティ作り）」「石巻のお母ちゃんの自立・就労支援サポート」の企画・運営を担当。しかし、め組JAPANの活動は、今年の三月をもって終了することが決定していました。

## 遊び場作ろうよ！

当時、震災から約二年を経ているとはいえ、子どもの遊び場は、仮設住宅の立地や危険区域指定による立ち入り禁止などのため、依然限られたままでした。移動式遊び場の出前

依頼など、まだまだニーズが多い現状を考えると、今後も活動を継続していく必要を感じました。

そこで、め組JAPANの有志とともに、今年一月十五日（いい子の日）「こども∞感ばにー」（以下、こどばにー）を設立。四月から子どもを中心に多世代が交流し、新たなコミュニティ形成ができる場作りを目的に、新たなスタートを切っています。

## あそびは子どものいきるチカラ

現在スタッフは「けるちゃん」と田中さん以下四名。活動の拠点となる遊び場は石巻市での二か所。渡波の「黄金浜ちびっこあそび場」と鹿妻の「鹿妻東公園」です。メインの活動拠点となる黄金浜の遊び場は毎週土曜日と日曜日に開放し、十時から十六時までスタッフが二名体制で対応しています。

黄金浜ちびっこあそび場では、土に触れ、火をおこし、自然の力を実際に体験し、感じて学ぶことを大切に

十一月九日黄金浜ちびっこあそび場で行われた芋煮会



にしています。子どもたちの自主性を尊重し、何かを決める時は子どもたちと同じ目線で話し合い、みんなで決めます。そして命や大げなつながる場合以外は「だめー」のないあそび場です。「ねばならない」という強要もなく、こどばにーでは子どもたちを信じ、自由に、自分の責任で遊んでもらうことを大切にしています。

今年十一月九日には黄金浜ちびっこあそび場で芋煮会イベントを開催しました。参加人数は四十人以上。普段遊び場を利用している親子や地域の人々が訪れ、それぞれ芋煮の材料として一品を持ち寄っていました。

芋煮会イベントに孫と参加していた参加者の一人は「津波という、経験しなくともよかった事を幼いころ

に体験した次世代を担う子どもたちの成長を、このような活動を通して見守ってもらいたいです」と話していました。

## 子どもの元気は大人の元気

こどばにーが今後やりたいことはたくさんあります。現在の二か所の遊び場での活動の継続だけでなく、遊び場がない地域や仮設住宅に住む子どもたちへの遊び場の出前、プレリーダー育成、雇用。それらを実現するため、ゆくゆくはNPO法人化も検討中です。

活動中、スタッフが着用しているツナギの背中には各々の思いが書かれています。田中さんの背中には「子どもは宇宙の宝」。

「子どもたちをいつも笑顔にしたいにするのが、私たち大人の役目だろうな」と思いながら、毎日楽しく動き回っています。子どもが元気だと大人も元気になる。一緒に楽しみましょう」と語る田中さんも子どものように楽しそうでした。

### こども∞感ばにー

〒986-0042 石巻市鹿妻南2-1-7

●TEL : 090-5902-0307

●URL : <http://codo-pany.jimdo.com/>

## 震災の記憶を後世へ



## ●NPO法人みやぎ宅老連絡会

NPO法人みやぎ宅老連絡会（以下、宅老連絡会）は、今年の十月に『証言』〜3・11宅老所の真実〜を出版しました。この本には、東日本大震災の時、宅老所では何が起き、宅老所がどのように対応したのか、みやぎ宅老連絡会の会員事業所ごとの体験談としてまとめられています。

宅老所とは、高齢者が地域の中でその人らしく、いきいきと生活できることを目指し、通所介護や宿泊介護といったサービスを提供している地域に密着した介護施設です。

宅老連絡会は一九九六年に設立されました。県内約五十か所の宅老所を会員に持ち、会員同士のふれあいや情報交換、介護技術の質向上を目指して活動しています。

震災後、一部の宅老所は、介護だけでなく医療や保育の役割も担い、また支援物資の物品拠点にもなりました。宅老連絡会は、震災直後から会員事業所の安否確認や必要な支援の確認に動き出し、自らが持っているネットワークを活かし、様々な支

援の橋渡しやイベントの開催に尽力してきました。被害はとても大きなものでしたが、震災から二年と九か月が経ち、現在では多くの事業所が再生に向かっていきます。

## ●足跡を残す

宅老連絡会の代表理事である伊藤壽美子さんは、東松島市新東名で宅老所やグループホームなど多角的な活動を行っているNPO法人のんびりすみちゃんの家の理事長でもあります。昨年三月から、伊藤さんを中心に、のんびりすみちゃんの家ではJR仙石線旧野蒜駅において



▶十月三十日の出版記念講演会終了後、インタビューに答える伊藤代表

語り部を始めました。国内外から集まったボランティアや地域の人々に震災の様子を伝える語り部活動は、今でも毎週土曜日に行っています。伊藤さんは語り部を行う中で、話をしているだけでは人の記憶には残らないと思い、震災の記録をなにか形として残したいと思うようになりました。

宅老連絡会としても、震災時の記録は残していませんでした。そこで、のんびりすみちゃんの家だけでなく、宅老連絡会の会員事業所ごとに、それぞれが震災時に担った役割を体験談として本にまとめることを決めました。

海岸からわずか二五〇mの場所にありながら、職員の機転により奇跡的に一名の犠牲者も出さなかった岩沼市の「特別養護老人ホーム赤井江マリンホーム」を皮切りに、本には二十八の宅老所の記録が収められています。

「震災時に宅老所が担った役割は様々で、他の施設の方にこの本を読んでもらうことで、危機的状況におけるリスク管理にもつながります。震災を風化させないことが、私たち残されたものの使命です」と伊藤さんは語ります。

本の出版には、二十年間宅老所の取材を続けてきたノンフィクションライターの甘利てる代さんの協力も得ました。各宅老所の体験談とは別

に甘利さんのルポ記事も加えられて、本全体の構成も甘利さんが担いました。「事業所の方々の原稿はほんとに貴重な記録です。出版する意味があると思いました」と甘利さん。

## ●多くの人に真実を

現在も被災地の復興は少しずつ進んでいます。その道のりは長く険しいものです。震災が過去のものにならないために、また震災を未来に活かすために、語り継ぐことには大きな意義があります。宅老所の再生の様子を知ること、被災地の現状を理解することにもつながります。地域に根ざしている宅老所だからこそ伝えられることがあります。みやぎ宅老連絡会は、本来の宅老所支援に加え、これから多くのの人に震災の真実を伝える活動をしていきます。

## NPO法人みやぎ宅老連絡会

〒981-3203 仙台市泉区高森7-32-16  
NPO法人おひさまくらぶ事務所内  
●TEL：022-341-6230  
●FAX：022-341-6231  
●URL：http://miyagi-takurou.jp/





絵

本

で

伝

え

る

防

災

知

識



● NPO法人防災士会みやぎ



れることを前提として作られています。絵本完成後は、メンバーの一人、フリーアナウンサーの黒田典子さんが中心になり、園からの要望に合わせ、出張読み聞かせの活動を行っています。

● ● ●  
さらなる次回作を  
● ● ●

各地の幼稚園や保育園に出向く防災士会みやぎの出張読み聞かせは、絵本が出版された直後の今年四月から毎月一、二回のペースで、これまで十回ほど開催してきました。

「これまでこのような絵本はなかった」「こういう絵本がほしかった」など、読み聞かせを行った園や、絵本を送った所からの反響を大きく感じる一方、読み手の読み聞かせスキルに依存した作りだったこともわ

かってきました。そのために、防災士会みやぎでは新たなメンバーも参加して、絵本の次回作の検討を始めています。今度は幼児が一人で読んでも、内容が伝わる絵本を作りたいと計画中です。

● ● ●  
宮城から全国へ届けたい  
● ● ●

減災への関心の高まりから、町内会での防災訓練の際の支援だけでなく、中学や高校での講演の依頼も増えています。

NHKのラジオ番組では、月に一回、「備えっぺみやぎ」のコーナーに会員が交代で参加して、防災意識の啓発に一役を担っています。

『震災を経験した宮城の防災士だからこそ伝えられることがある』。防災士会みやぎは、新たな段階へと歩み始めています。今後の活動について、松本さんは「減災絵本のように、こ

● ● ●  
絵本で伝えたかった思い  
● ● ●

温かみのあるイラストが印象的なハードカバーの絵本を三〇〇部発行し、県内の幼稚園や保育園、児童館に無料で配布しました。「災害は自然の恵みの裏返しであること」をテーマに、小さな子どもたちにも伝わりやすいよう随所に工夫が施されています。

二〇〇七年にNPO法人日本防災

士機構の宮城県支部として発足して以来、防災知識の普及に務めている防災士会みやぎ。幼児期からの減災教育の重要性には、かねてから気づいていました。「でもこれまで、そのための有効な手段はあまりなかったのです」と制作メンバーの一人である松本康裕さんは語ります。

絵本制作は防災士会みやぎのメン



バー有志四人が担当しました。それぞれの思いを絵本という形で表わす作業は、手探りの連続でした。「発行部数を減らしてでも、ハードカバーの絵本を作りたいかったんですよ」と松本さん。寄贈した園で、大切に読み繋いでいってほしいとの願いからです。

また、他のメンバーがどうしてもとこだわったのは、四十mの津波を表現するためのしかけです。限られた予算の中、コストを掛けずにしかけ絵本を作るため、絵本と別にしかけ部分を印刷し、製本後に自分たちで貼り合せることにしました。

何度も打ち合わせを重ね作り上げたこの絵本は、読み聞かせで使わ



▶今年五月「丸森たんぼこども園」での読み聞かせ

## NPO法人防災士会みやぎ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
みやぎNPOプラザ内レターケースNO.22  
●TEL: 080-1821-0335  
●E-mail: ehon@bousaishi-miyagi.org  
●URL: <http://bousaishi-miyagi.org/>

寄稿・相澤 治さん

# 大切な人を亡くした 子どもに寄り添う



●NPO法人子どもグリーフサポートステーション  
事務局長・プログラムディレクター

私たちNPO法人子どもグリーフサポートステーション（代表・西田正弘）は、震災や自死、事故、病気などで、親やきょうだい、友人など大切な人を亡くした子どもたちへのグリーフサポートを行っています。（※グリーフ＝喪失体験に伴う愛惜や悲しみなどの様々な感情）

活動の中心として、仙台市と陸前高田市で月二回ずつ日帰りのグリーフプログラムを開催しており、両市を合わせると毎月約二十五から三十名の子どもたちが参加しています。そのうち約半数が震災により死別を体験した子どもたちです。このプログラムでは、同じような経験をした子どもたちが集まり、遊びやおしゃべりを通して気持ちをシェアし、お互いの歩みを参考にします。また出会いを通して「悲しんでもいい」、「ひとりじゃない」ということを確認する場としています。

## はじまりと再スタート

このプログラムがスタートした

のは、震災が発生する少し前の二〇一〇年十二月のことです。仙台グリーフケア研究会（現NPO法人仙台グリーフケア研究会 理事長 滑川明男）の高橋聡美氏（つくば国際大学教授）が、当時あしなが育英会に勤めていた西田正弘に協力を求め、東北で初めて実施しました。震災で止む無く中断しましたが、五月にはプログラムを再開することができました。（あしなが育英会との共催）

再開後は、回を重ねる毎に子どもは増え、人手も不足し、更にはお借りしていた会場が諸事情により使用できなくなる問題に直面しました。また、その他の被災地域での講演や講座の依頼も増え、当時一市民団体だった仙台グリーフケア研究会が本来の活動を維持したまま子どものグリーフサポート活動続けるのは困難な状況になっていました。

そういった事態を解決するために設立されたのが、子どもグリーフサポートステーションでした。これまで仙台グリーフケア研究会が行ってきた活動を継承し、更に発展させ、

死別に関するテーマをもとに皆で気持ちをシェアする「お話の時間」



仙台市以外の被災地へグリーフサポートを届けることを目的の一つとしました。二〇一二年九月のことです。

## 耳を澄ます

たくさんの子どもたちと出会い、声を聴きました。言葉にならない声もありました。震災から間もなく三年を迎えようとしているところで、やっと自分の気持ちを語り始めた子もいます。神戸の震災では、三年が経過したところで悲しみが実感を伴って現れ、変化を示した子どもがいたと聞きます。ある女の子は七夕の短冊に「もしお母さんが帰ってきたら、もう死なないでほしい」と書きました。ある男の子は「将来は工

ンジニアになりたい。でも死ぬかもしれないしな」と言います。私たちはそんな声に耳を澄まします。そして子どもたちが自分の気持ちに丁寧に触れられるよう助けします。

## これから

子どもたちは日々成長していきます。しかし死別を経験した子どもたちは、人生の無常さや理不尽さ、命の儚さを突き付けられ、寄る辺ない人生に不安を感じながら生きているのではないだろうか。私たちは、出会う子どもたちに寄り添い、心の声に耳を傾けながら、子ども自身が人生の主導権を取り戻す作業の手助けをしていきたいと考えています。そして、行きつ戻りつしながら現実に向き合う子どもたちが、それぞれの目標を見つけれられるようなサポートを届けたいと思います。また、被災地での活動を継続しつつ、これから起こりうる災害に備えるためにも、全国に子どものグリーフサポートの場を広げていきたいと考えています。

### NPO法人子どもグリーフサポートステーション

〒980-0021 仙台市青葉区中央3-6-7

東日本建物仙台駅前ビル6階

●TEL：022-796-2710

●FAX：022-774-1612

●URL：http://www.cgss.jp/





## 「健康食なのに

## おいしい!」を実現

### ● NPO法人キューオーエル

この夏、一食あたり六〇〇kcal以下、塩分三g以下の料理だけを掲載したレシピブック『春夏レシピ』が誕生しました。

この『春夏レシピ』はNPO法人キューオーエルと東北公済病院による共同プロジェクト「宮城カルテ食堂」が発行しています。

### ● みんなで楽しく健康な食事を ●

キューオーエルは、「今、私たちができること」をコンセプトに、一九九八年に設立したNPOです。以後、臓器提供意思表示カード、AEDの普及や、宮城の救急医療の向上のため、さまざまな活動を行ってきました。

キューオーエルが「宮城カルテ食堂」を手がけるようになったきっかけは、東北公済病院から相談を持ちかけられたことでした。

東北公済病院がある国分町界隈は東北随一の繁華街として知られています。その国分町で患者と患者の家族と一緒に食事を楽しむにはどうし

たらよいか、東北公済病院の関係者は悩んでいました。

そこで、キューオーエルと東北公済病院は、健康にやさしいメニューを確かな知識を持った専門家が認定し、提供する試みを始めました。

### ● 講習会参加型認定プログラム ●

このプロジェクトには二本の柱があります。一つは「宮城カルテ食堂」認定の飲食店を増やすプログラム。

「宮城カルテ食堂」認定の飲食店となるために、各飲食店には講習会への参加が必要です。東北公済病院の医師、管理栄養士による必須講座を受講し、生活習慣病や栄養学、カロリー・塩分計算の方法を学んだ参加者は、その知識を応用して、一食六〇〇kcal以下、塩分三g以下の料理のレシピを作成します。そのレシピが最終的に認定委員会の審査を通れば、「宮城カルテ食堂」認定料理と認められることになります。

初の講習会は今年五月から七月にかけて実施され、結果八月に十四店

舗が「宮城カルテ食堂」の認定を受けました。十一月には第二クール目の講習会が終了したばかりです。

### ● 健康レシピを被災地へ ●

そしてもう一つの柱が被災地の食材販路の再構築です。その成果として、今年七月末に完成したレシピブックがあります。

東北公済病院の病院食をベースとしたレシピ、それと被災地の食材加工品を使ったレシピがそれぞれ半分ずつ、合わせて五十種のレシピを考案し『春夏レシピ』として一冊の本にまとめました。冒頭でも紹介したように、掲載されているレシピはすべて一食六〇〇kcal以下、塩分三g以下です。

この本のレシピが被災地の食品を材料として使っているのは、販路拡大支援の目的のほか、被災者の健康管理にも使えるようにするためです。一般的にカロリーや塩分が高めな沿岸部の加工食材でも、レシピに沿って料理することで、健康面の心配をすることなく食材の味を生かすことができるようになります。

避難所・仮設住宅内での生活が長く続き、乱れた食生活がもとで体調を崩してしまう人に健康な食生活を提供することが狙いです。

実際に石巻市十三浜でレシピの試食会をしたところ、「おいしいこと

◀ 今年九月、十三浜での試食会の様子



く」と、濃い味付けが好みの浜のお母さんたちにも好評でした。

現在、『秋冬レシピ』の制作にも取り掛かっており、完成は来年一月予定。

『春夏レシピ』と合わせて、計一〇〇種のメニューを早く世に出したい」と、担当スタッフの石井尚美さんは意欲的に話してくれました。

#### NPO法人キューオーエル

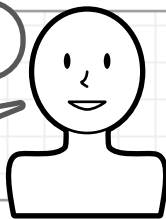
〒980-0021 仙台市青葉区中央3-10-11  
●TEL: 080-8213-2267  
●FAX: 022-222-3390  
医食同源プロジェクト「宮城カルテ食堂」  
●URL: <http://www.karute-shokudo.com/>



## 宮城県の若手リーダー達が語る

Nonprofit  
Organization

## NPO活動



### みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO  
プラザからのお知らせです。

十一月十六日、みやぎNPOプラザで毎年恒例の全館を挙げてのイベント「知って、つながる！みやぎNPOフォーラム2013」が開催されました。中でも午後の交流サロンでは、NPO法人パソコンママネットワーク理事長の遠藤一恵さんやNPO法人子育て応援団ひよこ理事長の齋藤勇介さん、そしてNPO法人Azumare代表理事千葉和義さんをパネリストに迎え、「みやぎの若手NPOリーダーに聞く！NPOで活動するという生き方」をテーマにディスカッションしました。コーディネーターはプラザの大久保朝江館長が務めました。

### 「自分目線」から始まった活動

最初に、三名のパネリストから活動を始めたきっかけについて聞きました。

名取市で児童センターの指定管理者として子育て支援を行っている齋藤さんは、託児ボランティアに携わる保育士として、また一人の父親として「地域の子育て環境を改善したい」という想いから活動を始めた」と話し、石巻市でIT支援を中心に活動をしている遠藤さんは、PC講師と母親の立場から、「地元のママ達が子育ての情報交換を行いながら活躍できる場を創りたい」との想いから

右から千葉さん、遠藤さん、齋藤さん、大久保館長



ら団体を立ち上げるきっかけになった」と語りました。

そして栗原市で市民活動支援センターの管理やまちづくり支援を行っている千葉さんからも、「十二年間に渡る米国滞在から帰郷した若者として、何とか地元を活性化したいという想いが、仲間を集い活動を始める原点になっている」と話し、それぞれの活動が、「自分目線」の問題意識から始まっているという共通点が印象的でした。

### 出合いを通じて広がる活動

それぞれの団体活動に話題が移ると、各パネリストからは、団体の活動が広がる過程で、様々な人々との出合いがあったことが話された他、現行の指定管理制度が抱える問題や

NPOと行政の係わり合いについての話、広報活動についてのエピソードなども話題に上りました。大久保館長からも「NPOは常に外部に向かって情報を発信し、人との出合いを求めることが大切。そこから思わぬ支援を得られる場合もある」と話しました。

最後に、齋藤さんからは「地元から発信し全国の子育て環境を変えたい」、遠藤さんからは「石巻地域の災害情報メールの登録者数を上げる取り組みをしたい」、千葉さんからは「コミュニティ支援のプロフェッショナルになるためにスキルアップをしたい」と決意とも取れる話がありました。

既にNPO活動を行っている人やこれから活動を始めた人にとっても大変刺激的で内容の濃い二時間となりました。



最後は参加者同士、交流会で親睦を深めました

## プラザの無料NPO相談

法人設立・運営相談

毎週水曜日

法律相談

12/12(木)

会計・税務相談

12/26(木)

各相談要予約 申込  
定員3団体(先着)

各相談  
13:00~17:00  
(1団体あたり約1時間)

### みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
(指定管理者・特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

### みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



## タケダ・いのちとくらし再生プログラム 第5回新規助成

- 助成対象：「いのち」と「くらし」の再生に関わる下記の活動
  - ・いのちの再生  
社会的に弱い立場にある被災者が尊厳をもって生きていけるよう、その人権を尊重し、日常生活を支援し、保健・医療・福祉の充実を図る活動
  - ・くらしの再生  
被災した人々が生きがいのある暮らしを回復するための、生活基盤を整備する活動(調査研究や政策提言活動も対象とします)
- 対象団体：「いのち」と「くらし」の再生に関わる社会的課題を発掘し、その課題を解決するために被災3県において活動する非営利の組織。法人格の有無や種類は不問
- 助成金額：1件につき500万円～1,000万円(総額3,000万円予定)
- 対象期間：2014年4月1日から1年間(継続助成の可能性あります)
- 募集締切：12月12日(木)～12月18日(水) 消印有効
- 連絡先：認定NPO法人日本NPOセンター  
タケダ・いのちとくらし再生プログラム事務局  
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1  
新大手町ビル245  
TEL：03-3510-0855 FAX：03-3510-0856  
URL：<http://www.inochi-kurashi.jp/project/josei/josei5/>

## 2014年度 積水ハウスマッチングプログラム

- 基金の種類：「積水ハウスこども基金」  
次世代を担うこどもたちを育成することを目的とし、こどもたちの健全な育成に関わる活動を支援  
「積水ハウス環境基金」  
サステナブル社会の構築に寄与することを目的とし、環境や生態系の保全に考慮した活動を支援
- 助成の種類：A) プログラム助成  
申請プログラムに対して助成  
B) 基盤助成  
団体のインフラ整備、活動の質の向上、会員拡大などの使途への助成
- 対象団体：2014年4月1日からさかのぼって3年以上の活動実績のある団体
- 対象期間：2014年4月1日～2015年1月31日までにを行う活動  
※複数年計画などの事業も申請可能ですが、使途はこの期間内で執行された活動への助成となります
- 助成金額：A) 過去3年間の平均年間支出合計の30%以内または200万円のいずれか低い金額が上限  
B) プログラム助成の審査で選外となった団体を対象とした「基盤助成」(上限20万円)を審査
- 募集締切：12月20日(金) 17:00必着
- 連絡先：積水ハウスマッチングプログラムの会 協働事務局  
社会福祉法人大阪ボランティア協会  
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20-2F  
市民活動スクエアCANVAS谷町  
TEL：06-6809-4901 FAX：06-6809-4902

## 平成26年度 障がい者福祉助成

### 【障がい者給料増額支援助成金】

#### A) ジャンプアップ助成金

- 助成対象：給料増額のモデルケースとして、より本格的なしくみを取り入れた事業
  - 応募要件：・平均工賃一人当たり既に月額2万円以上支給していること  
・より本格的事業を取り入れた総事業費500万円以上の事業であること
  - 助成金額：上限500万円(最大9件)
- #### B) ステップアップ助成金
- 助成対象：全国平均以上の給料支給実績がある施設・事業所  
障がい者の給料増額に効果的な事業、設備に限る
  - 応募要件：平均給料一人当たり月額13,585円以上支給していること
  - 助成金額：上限100万円(最大50件)

※A) B) 共に助成対象となる事業所・施設は、平成24年4月以降1年間以上の給料支給実績がある就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、福祉工場、地域活動支援センター、生活介護事業所のみとなります  
※A) B) 共に、平成27年3月までに整備を完了し、助成金を受給すること

### 【障がい者福祉助成金】

- 助成対象：会議、講演会、研修、出版、啓発、調査、研究、スポーツ、文化事業・活動
- 助成金額：上限100万円(最大10件)
- 対象期間：平成27年2月15日までに完了する事業

### 【共通事項】

- 募集締切：12月31日(火) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヤマト福祉財団  
〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-18  
ヤマト銀座ビル7階  
TEL：03-3248-0691 FAX：03-3542-5165  
URL：<http://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy/>

## 平成26年度 環境NPO助成

- 助成対象：下記のいずれかの目的を達成するための具体的な取り組み、活動
  - ・環境と経済との統合に資する活動
  - ・環境問題の解決に資する科学・技術的活動
- 対象団体：NPO法第10条の規定にもとづき設立された国内の法人  
環境分野での実践活動実績(再委託や、第三者の活動支援を主たる目的とする活動は除く)を有する国内の任意団体
- 助成金額：1件あたり150万円を限度(総額800万円)
- 募集締切：平成26年1月17日(金) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人日立環境財団  
〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号  
丸の内センタービル12階  
TEL：03-5221-6677 FAX：03-5221-6680  
E-mail: [kankyo@hdq.hitachi.co.jp](mailto:kankyo@hdq.hitachi.co.jp)

宮城県主催 杜の伝言板ゆるる企画・実施

# NPO会計&認定NPO法人化 サポート情報

すべて無料!

NPO法人会計基準の  
基本を学びたい方

## NPO法人会計 基準講座 入門編

- 1/28 火 気仙沼市役所ワン・テン庁舎 交流室B
- 1/31 金 栗原市市民活動支援センター 大会議室
- 2/12 水 登米市迫公民館 研修室
- 2/14 金 みやぎNPOプラザ(仙台市) 第2会議室
- 2/19 水 亘理町中央公民館 視聴覚室
- 2/28 金 白石市ふれあいプラザ 研修室1・2

■時間: 各回10:00~12:00 ■定員: 各回20名(先着順)  
■対象: 宮城県内のNPO法人、NPO法人化を検討している市民活動団体

ワークショップ形式で財務  
諸表の作成を体験したい方

## NPO法人会計 基準講座 実践編

- 2/14 金 みやぎNPOプラザ(仙台市) 第2会議室
- 2/19 水 亘理町中央公民館 視聴覚室

■時間: 各回13:00~16:00 ■定員: 各回20名(先着順)  
■対象: 宮城県内のNPO法人、NPO法人化を検討している市民活動団体

日常の会計をもっと楽に  
こなしたいと考えている方

## NPO法人会計 基準講座 実務編

- 2/18 火 みやぎNPOプラザ(仙台市) 第2会議室

■時間: 13:00~15:00 ■定員: 20名(先着順)  
■対象: 宮城県内のNPO法人、NPO法人化を検討している市民活動団体

杜の伝言板ゆるるは今年度も宮城県からの委託を受け、県内のNPOの基盤強化に取り組んでいます。NPO法人会計基準の導入や認定NPO法人申請をお考えの団体様、この機会にご参加ください!

団体の会計について  
専門家の意見を聞いてみたい方

## 会計個別相談会

- 1/28 火 気仙沼市役所ワン・テン庁舎 交流室B
- 1/31 金 栗原市市民活動支援センター 大会議室
- 2/12 水 登米市迫公民館 研修室
- 2/28 金 白石市ふれあいプラザ 研修室1・2

■時間: 各回13:00~16:30 ■定員: 各回3団体(先着順)  
■対象: 宮城県内のNPO法人

認定NPO法人の申請について  
専門家の意見を聞いてみたい方

## 認定NPO法人 申請相談会

- 1/28 火 気仙沼市役所ワン・テン庁舎 交流室A  
■時間: 13:00~16:30
- 2/18 火 みやぎNPOプラザ(仙台市) 研修室  
■時間: 10:00~14:30

■定員: 各回3団体(先着順) ■対象: 宮城県内のNPO法人

## 申込方法

- ①②いずれかの方法でお申込みください。  
①NPO法人杜の伝言板ゆるるまで、TEL・メールにて直接お申込み(連絡先は本ページ下部をご覧ください)
- ②下記申込フォームからお申込み

【NPO法人会計基準講座】 URL: <http://p.tl/wakJ>  
【会計個別相談会】 URL: <http://p.tl/MuiL>  
【認定NPO法人申請相談会】 URL: <http://p.tl/mcOt>

## 情報をお待ちしています

- 申込方法: 問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切: 毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる  
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6  
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327  
e-mail: [npo@yururu.com](mailto:npo@yururu.com)

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト  
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、[info@miyagi-npo.gr.jp](mailto:info@miyagi-npo.gr.jp) まで



- 内 容：facebookを使って、情報発信をしてみましょう
- 参 加 費：1,500円
- 対 象：市民団体・サークル・NPOで活動している方で、Eメールができる方
- 定 員：5名(先着順)
- 申込方法：下記連絡先まで電話、メールにて申込
- 主 催：NPO法人パソコンママネット
- 連 絡 先：〒986-0873 石巻市山下町2-2-50  
TEL：0225-23-0822  
E-mail：npo@pasomama.com

## 12/19 心のケア講座&サロン 『小児科医から見た子どものからだと心』

.....  
予防接種や感染症などのからだのことから現代のこどもの心のことまで、幅広いお話が聴けます。肩の力を抜いて、気軽に先生との会話も楽しみましょう。

- 日 時：12月19日(木)10:30～12:00
- 場 所：東松島市 鳴瀬子育て支援センター  
(東松島市牛網字駅前1-59-1)
- 講 師：国立病院機構仙台医療センター 小児科医  
田澤雄作氏
- 参 加 費：無料
- 対 象：乳幼児親子、子育て支援者
- 定 員：20名
- 申込方法：下記連絡先まで、電話申込み
- 主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連 絡 先：鳴瀬子育て支援センター「あいあい」  
TEL：0225-87-2338

## 12/21 東北HIVコミュニケーションズ20周年記念 支えあう上映会とフォーラム 「トークバック 沈黙を破る女たち」

.....  
米国・サンフランシスコを舞台に、HIV陽性者、元受刑者、薬物依存症者、暴力のサバイバーなど、社会の周縁を生きる女性たちが、芝居づくりをとおして、自らの人生を取り戻していくドキュメンタリーです。この映画の監督である坂上香さんをお招きしての「支えあうフォーラム」も開催します。

- 日 時：12月21日(土)  
★上映 (1回目)13:40～15:40  
(2回目)18:20～20:20  
★支えあうフォーラム～坂上香監督と語る  
16:00～17:30
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階シアター
- 参 加 費：上映会は1回1,000円、フォーラムは無料
- 主 催：東北HIVコミュニケーションズ(THC)
- 連 絡 先：TEL：080-5224-7413(小浜)  
E-mail：thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp  
URL：http://blog.canpan.info/thc/

## 12/22 NPO活動お試し体験の会 みんなで、まちなか農園の活動に でかけてみませんか

.....  
「まちなか農園藤坂」は、地域のコミュニティを育てることを目的に、さまざまな団体、行政などと連携し運営しています。今回は、実際に地域で行われる活動に参加し、体験していただきます。ぜひこの機会に、地域・社会貢献活動を知り、参

加のしかたを見つけてみませんか？

- 日 時：12月22日(日) 10:00～12:00
- 場 所：「まちなか農園藤坂」仙台市青葉区花壇大手町町内会
- 案 内 人：今野均氏(「まちなか農園藤坂」分科会リーダー)
- 内 容：★活動を体験する  
★花壇大手町町内に「まちなか農園藤坂」ができたきっかけや取り組みを知る
- 対 象：おおむね55歳以上の方で、以下のような方  
・地域に密着した活動に、興味・関心のある方  
・地域・市民活動の内容や、参加のしかたについて知りたい方 など  
※夫婦や仲間同士での参加も大歓迎!
- 定 員：10名(先着順)
- 参 加 費：無料(ただし、昼食代は各自負担)
- 申込方法：名前、年齢、自宅か勤務先の連絡先(住所、電話番号、FAX、メールアドレス)を明記の上、下記連絡先まで申込
- 申込締切：12月10日(火)
- 主 催：仙台市シニア活動支援センター
- 連 絡 先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3  
仙台市市民活動サポートセンター 3階  
TEL：022-217-3983 FAX：022-217-3984

## 12/27 NPOのためのIT相談 ～組織の運営や日々の活動にもっとIT を活用しよう～

.....  
あなたの団体にホームページはありますか？NPOの活動が多くの人から信頼され支持されるためには、日頃の活動について積極的に情報を発信する事が最も重要です。是非一度相談してみませんか？

- 日 時：12月27日(金) 13:00～17:00  
※相談時間は1団体約1時間
- 場 所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 対 象：非営利団体であれば法人・任意は不問
- 定 員：3団体(先着順)
- 参 加 費：1,000円
- 申込方法：相談日1週間前までに、団体名、名前、連絡先を明記の上、FAXまたはメールで送付ください。
- 主 催：(特活)イー・エルダー東北支部
- 申 込 先：(担当：武藤)  
〒981-1246 名取市相互台3-18-5  
TEL/FAX：022-796-8091  
E-mail：tohoku@e-elder.jp  
URL：http://www.e-elder.jp/tohoku/

## 1/14 傾聴茶話会

.....  
いままで、あまり他に言えなくて…聴いてくれる人がいれば話せるかも…そんな話、こんな話、お茶を飲みながら、ゆっくり話してみませんか？被災された方、一般の方も、どうぞお越しください。

- 日 時：1月14日(火)10:30～12:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 4階 研修室5  
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：不要(直接会場へお越しください)
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連 絡 先：TEL：090-6253-5640

- 内容：男性の育児参加を推進するトークセッション
- 対象：子育て中のパパ、これから子育てするプレパパ、パートナーも一緒にどうぞ！ママも大歓迎！社員の育児を応援したい企業の方も、ぜひご参加下さい。  
※ご参加の方には、ノルウェーなど北欧雑貨のミニプレゼントも！
- 定員：100名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込。ホームページからも申込可。申込時に、参加者氏名、連絡先(TEL・FAX・E-mail)を明記
- 主催：仙台市、公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台管理事業課  
〒980-8555 仙台市青葉区一番町4-11-1  
141ビル(仙台三越定禅寺通り館)6階  
TEL：022-268-8300 FAX：022-268-8304  
URL：http://www.sendai-l.jp

## 12/15 クリスマスNATALEフェスタ

ちょっとおめかしして、大人が主役のお洒落なパーティしませんか？junko先生お手製のイタリア料理を用意してお待ちしています。託児はありませんが、キッズルームが利用できます。お子様連れの方も気兼ねなくご参加ください。

- 日時：12月15日(日) 12:00～14:00
- 場所：エル・パーク仙台 セミナー室  
(仙台市青葉区一番町4-11-1)  
141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5階
- 定員：30名(先着順、定員になり次第受付終了)
- 参加費：大人：2,000円、学生・子供：1,000円  
※参加費は事前振込です。返信の際にご案内します
- 持ち物：プレゼント交換用のプレゼント(500円程度)  
食べ物・飲み物の差し入れ大歓迎！
- 申込方法：件名を「12/15フェスタ参加申し込み」として、氏名、年齢、性別、電話番号を本文に明記のうえ、メールにて申込
- 申込締切：12月10日(火)
- 主催：イタリア料理作れるいい男コミュニティ  
アミチツィア会  
E-mail：amicizia.fes@gmail.com  
URL：http://blog.goo.ne.jp/ciococioco/

## 12/15 教育支援セミナー 「高校中退者の支援について」

「高校中退者」を抱える保護者、教育関係者、進路指導に携わる方など、どなたでも参加できます。  
※希望者には個別面談を実施します。

- 日時：12月15日(日) 10:00～12:00
- 場所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 内容：★第1部「高校中退者の現状とその支援について」  
講師：土佐昭一郎氏  
(NPO法人ミヤギユースセンター代表)  
★第2部「質疑応答」
- 参加費：無料(予約不要)
- 主催：NPO法人ミヤギユースセンター
- 連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203  
TEL：022-256-7977  
URL：http://www.miyagiyouht.npo-jp.net

## 12/17 名取市みみサポサロン

おしゃべりや、ゲームをしながら楽しい時間を過ごしませんか？手話や筆談など、一番安心できるコミュニケーション手段で対応します。お好きな時間に、お気軽にお越しください。

- 日時：12月17日(火) 10:30～14:30
- 場所：名取市役所1階 ポケットギャラリー
- 内容：手話DE伝言ゲーム、簡単！松ぼっくりツリー作り
- 対象：聴覚障がい者とか家族など広く聴覚障がいに関わる方々(障がいの有無に関わらず、参加歓迎)
- 主催：みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター  
(みみサポみやぎ)
- 連絡先：TEL：022-349-9605 FAX：022-349-9606

## 12/18 情報発信講座「facebook活用術」

情報発信は、なぜ必要なの？どう発信すると効果的？活用のしかたが、わからない…そんなお悩みをもっている団体のみなさん！みなさんの活動の情報発信を、私たちがお手伝いします。

- 日時：12月18日(水) 13:00～15:30
- 場所：石巻NPO支援オフィス(石巻市泉町3-1-63)



| NPO法人の設立を新しく申請した団体 |     |                                                                  |       |
|--------------------|-----|------------------------------------------------------------------|-------|
| 団体名                | 所在地 | 活動内容                                                             | 受理日   |
| アンベリテ              | 仙台市 | 被災者・地域住民のためのコミュニティサロンの運営、街なか活性化イベントの開催、学術、文化、芸術、スポーツに関するイベントの開催等 | 10/24 |

### 宮城県のNPO法人数

**743** 団体

宮城県等所轄：339団体  
仙台市所轄：404団体  
※2013年11月10日現在

| NPO法人に認証された団体  |     |                                                                                                   |       |
|----------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 団体名            | 所在地 | 活動内容                                                                                              | 認証日   |
| 帰園田居創生機構       | 栗原市 | 芸術活動を通じた交流事業と地域振興事業等                                                                              | 10/3  |
| 仙台傾聴の会         | 仙台市 | 傾聴活動事業、支援人材育成講座等の研修事業、会報の発行等の啓発事業等                                                                | 10/11 |
| KIDS NOW JAPAN | 仙台市 | 総合的な地域社会づくりを目的とする事業に関する調査研究並びに総合的な企画、総合的な地域社会づくりを目的とする事業に関する内外の情報収集・広報、総合的な地域社会づくりを目的とする事業に関する研修等 | 10/18 |
| 住まい・まちづくり支援ボード | 仙台市 | 住まい・まちづくりに関する調査、研究事業、住まい・まちづくりに関する計画、設計および企画事業、住まい・まちづくりに関する技術の普及事業等                              | 10/28 |
| クラブス           | 仙台市 | スポーツ教室等の企画、運営によるスポーツ振興及び地域活性化推進事業、トップアスリートの発掘・育成・支援事業、チャリティー及びフィットネスのインストラクター派遣事業                 | 11/5  |
| やまとの絆          | 仙台市 | 高齢者等向け賃貸住宅経営事業、非行少年・引きこもり・不登校児への自立支援事業、高齢者等の自立支援に関する普及啓発事業等                                       | 11/8  |



★12/20(金)、Switch! みらい発見塾ウィンターセミナー開催!  
ゲストのトークセッションも含む拡大版です。詳細は、後日、  
上記HPに掲載いたします!

## 12/14 話せないを話すということ —違いを超えた向こう側にある未来をつくる—

.....  
私たち日本人には、相手の立場を考えて話をするという、とても奥ゆかしい心があります。どうしても自己開示ができずに、かえって苦しい思いをすることもあります。だけど…お互いに本音を言える関係があればこそ、やってくる未来もある。参加者全員的人生経験を通して、「場の空気をつくり方」を学びます。

- 日 時：12月14日(土) 10:00～17:30(受付9:30～)
- 場 所：東京エレクトロンホール(宮城県民会館)601大会議室  
(仙台市青葉区国分町3-3-7)
- 内 容：ファシリテーターとして必要な「場の空気をつくる」こと、ワールドカフェを代表とする「話し合いのツールのテクニックとしての方法論を持ち帰る」ことを狙いとしています。
- 参加費：会員1,000円 非会員1,500円
- 対 象：どなたでも参加可能
- 定 員：80名(先着順)
- 申込方法：下記HP申込フォームより、申込
- 申込締切：12月11日(水)
- 主 催：NPO法人日本ファシリテーション協会
- 連絡先：担当：中岡(東北スクエア)  
E-mail: sendai-member@faj.or.jp  
URL: [https://www.faj.or.jp/modules/contents/index.php?content\\_id=15](https://www.faj.or.jp/modules/contents/index.php?content_id=15)

## 12/14 風の会 公開学集会 vol.3 福島原発の事故の背景 ～1号機は設計ミスだった?～

.....  
風の会ホームページで「原発問題のオリジナル解説あれこれ」を精力的に投稿している仙台原子力問題研究グループの石川さんに、福島原発事故の背景を独自の視点でお話いただきます。原発のここがチョットわからない、という方もどうぞ!

- 日 時：12月14日(土) 18:15～20:15
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5  
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師：石川徳春氏(仙台原子力問題研究グループ)

- 参加費：300円
- 主 催：みやぎ脱原発・風の会
- 連絡先：TEL: 090-8819-9920(館脇)  
URL: <http://miyagi-kazenokai.com/>

## 12/14 MELON cafe プチ講座 特別講座! 古着をリメイク★クリスマスリースづくり

.....  
クリスマス飾りに布のリースはいかがですか? 着古した生地を縫い合わせて作ります。

- 日 時：12月14日(土) 13:30～15:30
- 場 所：MELON事務局内スペース(通称MELONcafe)  
(仙台市青葉区柏木1-2-45フォレスト仙台ビル5階※COOP柏木となり)
- 定 員：10名(要申込・先着順)
- 参加費：一般400円 会員300円  
※見学のみはご遠慮ください。お子様の同伴者もその場にいる方は体験料をいただきます。
- 持ち物：裁縫道具、タンブラーかマイカップ  
※今後の講座に活用いたします。不要な着古した着物があつたらご持参ください。
- 申込方法：下記の連絡先に、TEL・FAX・E-mailに申込み。  
申込時に、日程、氏名、連絡先、会員か一般かをご申告ください。
- 主 催：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連絡先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45  
フォレスト仙台5階  
TEL: 022-276-5118 FAX: 022-219-5713  
E-mail: [melon@miyagi.jpn.org](mailto:melon@miyagi.jpn.org)  
URL: <http://www.melon.or.jp/melon/>

## 12/15 家族を笑顔にしたい! ～パパたちの作戦会議

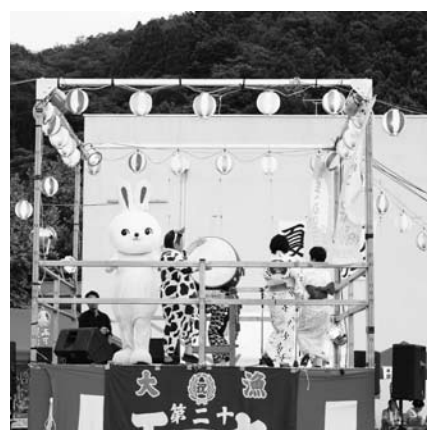
.....  
男性首長として、日本で初めて育休を取得した成澤廣修東京都文京区長など、5人のパパたちがそれぞれの体験をもとに、どうすればもっと男性が子育てに関わることができるか語り合います。会場の皆さんも一緒に作戦を練りましょう!

- 日 時：12月15日(日) 14:00～16:00
- 場 所：仙台市男女共同参画推進センター  
エル・パーク仙台  
スタジオホール(仙台三越定禅寺通り館 6階)

## かほく「108」クラブ通信 株式会社河北アドセンター

株式会社河北アドセンターは河北新報グループの一員として、1972年6月1日に誕生した総合広告会社です。宮城・山形県を中心に、きめ細かい情報収集力と機動力で、地域に関わる皆さまのお役に立てるよう心掛けてきました。河北新報に掲載する広告や各種販促活動などの地域コミュニ

ケーション活動を通して、企業の思い、商品サービスの情報提供をサポートしています。本社は青葉区五橋1丁目、第二河北ビルに入居。従業員は約50名。東日本大震災後は、仮設住宅の人たちのための「やりましょう盆踊り」を企画するなど、企業と住民の橋渡し役などに全社員は燃えています。



▲石巻市不動町での「やりましょう盆踊り」

- 日 時：12月10日(火)～12月16日(月) 11:00～17:00  
 ●場 所：中本誠司現代美術館(仙台市青葉区東勝山2-20-15)  
 ●主 催：nisipirica(にしぴりか)  
 ●連 絡 先：nisipirica(にしぴりか)  
 〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字館下47  
 TEL：080-1804-1621(遠藤)

## 12/12 バリアフリーつくり塾 クリスマスバザー

高齢者や障がいを持った方も心地良い生活ができるように、バリアフリーつくり塾で制作した衣類やユニバーサルファッション工房織のオリジナル作品を展示・販売します。講習会では“幸せの赤とんぼ布ブローチ・布で作るクリスマスリース”の作製も行います。

- 開店日時：12月12日(木)～12月17日(火) 10:00～15:00  
 ※16日(月)はお休み  
 ●場 所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース  
 ●講 習 会：12月12日以外の開店日 10:00～12:00、  
 12:30～14:30の各日2回開催  
 ●定 員：10名(講習会参加ご希望の方は要予約)  
 ●参 加 費：ブローチ作成1,000円、クリスマスリース作成1,500円  
 ※材料費込み  
 ●申込方法：下記連絡先にTEL・FAXで申込み  
 ●主 催：ユニバーサルファッション工房織  
 ●連 絡 先：携帯：090-9037-5556(佐藤)  
 FAX：022-227-9154

## 12/12 NPOのステップアップに今必要な5+1講座

組織の課題をあぶり出し、その解決につながるスタッフ向けスキルアップ講座と代表者、理事向けの組織を創るセミナーを各地域で集中的に開催します。気になる回だけの参加も受付しています！

### 【NPO事務局・スタッフ対象】

- 日 時：12月12日(木)9:30～20:00  
 12月13日(金)10:30～16:30  
 ●場 所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール  
 (仙台市青葉区一番町4-1-3)  
 ●内 容：組織課題の整理、組織の人材育成、情報発信、事務局運営、資金調達とは  
 ※詳細につきましては、HPをご覧ください。

### 【NPO代表・理事対象】

- 日 時：【石巻】1月16日(木)、【岩沼】1月17日(金)  
 両日とも13:00～16:00  
 ●場 所：【石巻】市民協・いしのまきハウス  
 (石巻市田道町1-15-2)

【岩沼】岩沼市中央公民館 第5会議室  
 (岩沼市里の杜1-2-45)

- 内 容：組織の人材育成セミナー  
 ※詳細につきましては、HPをご覧ください。

### 【共通事項】

- 参 加 費：NPO事務局・スタッフ対象：無料  
 NPO代表・理事対象：500円(資料代)  
 ●申込方法：メールにてお名前、ご所属、連絡先、参加講座を明記の上、下記連絡先まで申込  
 または下記HP申込フォームより、申込  
 ●主 催：宮城県  
 ●企画・実施：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター  
 ●連 絡 先：TEL：022-264-1281(担当：遠藤)  
 FAX：022-264-1209  
 E-mail：minmin@minmin.org  
 URL：http://www.minmin.org

## 12/12 Switch! みらい発見塾 「働くてなんだ!？」

なんとなく不安な将来のこと、就活のこと…誰かに聞いてみたい！すぐ近くにリアルに存在する大人たちの生き方、人生の選択術を車座で聞ける120分！

- 日 時：12月12日(木)18:20～20:30(受付18:00～)  
 ●場 所：アエル5F 仙台市情報・産業プラザ 情報化研修室  
 (仙台市青葉区中央1-3-1)  
 ●講 師：櫻井亮太郎さん  
 (株式会社ライフブリッジ 代表取締役)  
 工藤真紀子さん(ベルソナ研究所 主宰)  
 松本智実さん(ソニー生命保険株式会社 仙台ライフプランナーセンター第2支社 ライフプランナー)  
 ●内 容：1開催あたり2名の講座に参加可能  
 1コマ目18:40～19:25、2コマ目19:40～20:25  
 ※2コマ目から参加希望の方はお申込み時にお申し出ください。  
 ●対 象：高校生、大学生、求職者、起業志望者  
 ●定 員：30名(先着順)  
 ●参 加 費：無料  
 ●申込方法：下記連絡先まで、電話またはメールにて申込  
 メールでお申込みの場合、氏名、(学生の場合は)学校名、学年、連絡先、希望する講師名(2名)をご記入ください。  
 ●主 催：NPO法人ハーベスト  
 ●連 絡 先：Switch! みらい発見塾スタッフまで  
 TEL：022-395-4311  
 E-mail: info@heartbest.net  
 URL：http://www.heartbest.net/mirai.php  
 検索ワード：Switch! みらい発見塾

## ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.11.16現在)敬称略

### ●正会員 49名

★仙台市 ●関本英太郎

### ●賛助会員 83名

寄付・協賛を頂いた方々 (2013.10.16～2013.11.16)敬称略

★東京都 ●真如苑

## 会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。  
 ※正会員以外は、総会での議決権がありません。

### 郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる  
 (会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

| 会員種類      | 年会費     |
|-----------|---------|
| 正会員個人・NPO | 10,000円 |
| 正会員法人     | 20,000円 |
| 賛助会員個人    | 3,000円  |
| 賛助会員NPO   | 5,000円  |
| 賛助会員企業・団体 | 20,000円 |



# information

11月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。  
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

## ボランティア情報

### 第33回 サンフランシスコ

#### NPOボランティア体験プログラム(2/27～、3/3～)

人に出会い、真実を学び、変化を起こす。今まで気づかなかった問題意識、新たな目標をアナタらしく発見しよう。

- 日 時：★14日間プラン 2014年2月27日(木)～3月12日(水)  
参加費：174,000円(早期申込割引：168,000円)  
★10日間プラン 2014年3月3日(月)～3月12日(水)  
参加費：143,000円(早期申込割引：138,000円)  
★6日間プラン 2014年2月27日(木)～3月4日(火)  
参加費：89,000円(早期申込割引：86,000円)  
※現地(サンフランシスコ)集合・解散のプログラムです。参加費には現地までの交通費や食事代は含まれません
- 内 容：NPOボランティア体験、コミュニティ体験、イベント体験、エスニックフード体験、ゴスペル体験
- 対 象：18歳以上
- 最少数人数：各6名
- 申込方法：下記URLよりオンライン申込、もしくは参加希望用紙をメールにて送付
- 申込締切：第一次(早割)：2013年12月30日(月)  
第二次：2014年1月13日(月)
- 主 催：日本太平洋資料ネットワーク(JPRN)
- 連絡先：日本窓口(山本)  
TEL/FAX：044-511-8117  
URL：http://www.jpnrn.org

## 事業案内

### 被災地のお母ちゃんたちに、手仕事を 「園児エプロンプロジェクト」第5弾販売予約受付開始!

南三陸町歌津の女性たちが、園児用エプロンを縫っています。津波で多くのものを失ったお母ちゃん達。ミシンで何かを作り、自立したいと強い意思と笑顔で頑張っています。そこで、保育園などで使う園児用エプロンを縫ってもらっています。(販売利益全額を縫子料としてお渡ししています)

- 販売価格：1セット(園児用エプロン2枚組)1,000円(税込・送料別)
- 申込方法：件名に「園児用エプロン希望」と明記し、希望セット数、送付先住所、氏名をメールにてお知らせください。確認後、返信メールをお送りします。
- 申込締切：12月末日
- 主 催：園児エプロンプロジェクト
- 連絡先：(担当：大坂)  
E-mail：enjiapron@gmail.com

## 電話相談

### HELP!みやぎ ―生活困窮者ほっとライン―

「HELP!みやぎ」では、生活困窮者の方々が路上に出ることのないように、出てしまっても不安のない生活を取り戻せるように、その方に合った方策をとともに考え、解決の糸口を見つけ出すお手伝いをしています。

- 相談電話番号：050-5539-6789 (火～日曜10:00～15:00)  
080-3326-7419 (上記以外の時間帯)
- 日 時：年中無休 8:00～21:30
- 主 催：NPO法人仙台夜まわりグループ
- 連絡先：〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-10-12  
URL：http://www.yomawari.net/

## イベント

### 12/8 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ち等を、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

- 日 時：14:00～16:30開催  
★石巻会場12月8日(日)  
場所：カリタスジャパン石巻ベース  
★岩沼会場12月14日(土)  
場所：岩沼市民会館  
★仙台会場12月21日(土)  
場所：仙台市市民活動サポートセンター  
13:00～15:30開催  
★気仙沼会場12月22日(日)  
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」  
気仙沼会場は、13:00～15:30開催
- 対 象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料
- 申込方法：不要 ※託児をご希望の方は事前にお知らせください
- 主 催：NPO法人仙台グリーフケア研究会
- 連絡先：仙台市青葉区一番町4-1-3  
仙台市市民活動サポートセンター内No.85  
TEL：070-5548-2186  
E-mail：griefoffice@gmail.com

### 12/10 にしぴりか・あーと・ぱーてぃー

nisipirica(にしぴりか)とは黒川郡大和町にあるアーティストたちが集うアトリエです。工房のなかで、織りや絵、版画を思い思いに制作しています。そんなnisipiricaが今年最後のアート展を開催いたします。

入学金・授業料や仕送り費用など、教育に関するさまざまな使いみちに。

## ろうきん教育ローン 固定金利5年 年2.50%～(保証料込)

- お使いみち: 入学金や授業料、仕送りなど、ご本人やご親族の方の教育費用
- ご融資金額: 最高1,000万円
- ご融資期間: [固定金利型] 最長10年、[変動金利型] 最長15年



- 2013年10月1日から2014年3月末までにお申込みを受け、実行するご融資が対象となります。
- ご利用いただける方: ①お申込時の年齢が原則満20歳以上、勤続年数1年以上、前年の税込み年収が150万円以上の方。  
②当金庫の審査基準を満たされる方。
- 担保・保証人: 担保は不要です。当金庫指定の保証機関をご利用いただけます。保証料はご融資金利に含まれています。

※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※店頭で説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

2013年11月1日現在

◆◆◆ ローン事前審査も、ローン相談予約もろうきんホームページから! ◆◆◆



お問合せ・お申込みは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ

☎ 0120-1919-62

月刊

杜の伝言板



Vol. 200

Anniversary

月刊杜の伝言板ゆるるは2014年1月号で創刊200号を迎えます!

これはひとえに読者の皆さまのご理解があったからこそ。

2014年1月下旬、創刊200号を記念し、

記念トークイベント「みやぎの市民メディアを問う(仮)」を開催予定!

月刊ゆるるの軌跡を追いながら、宮城県の市民メディアを熱く語り合います。

イベント詳細は次号にてお知らせ致します。